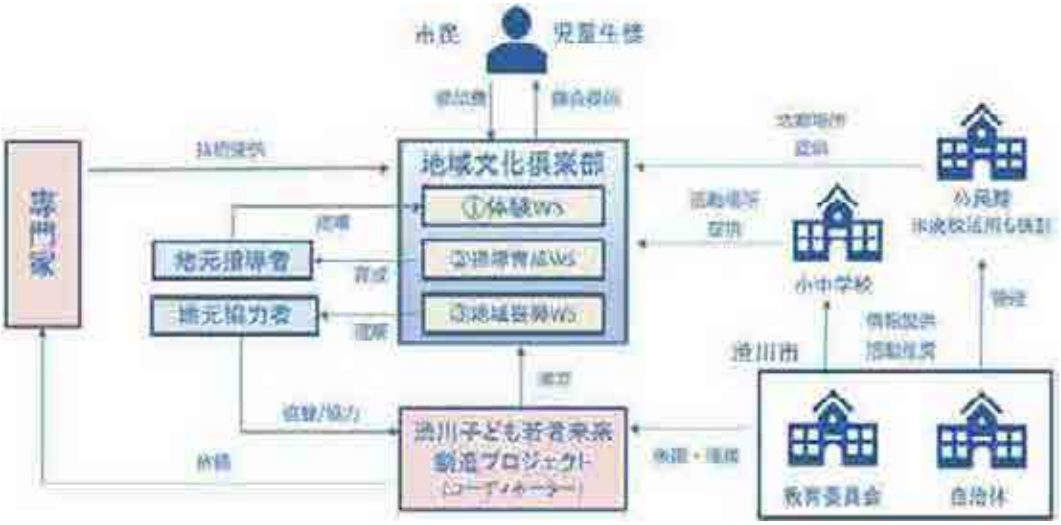
成果報告書

（地域文化倶楽部創設支援事業）

渋川子ども若者未来プロジェクト

所在地	群馬県渋川市	**設立年**	2018年
運営主体	渋川子ども若者未来プロジェクト		
事業目標	市民ミュージカル活動を地域における舞台芸術文化の活動として定着させるとともに、子どもたちが生涯を通して学び・体験ができる環境づくりに向けて、世代間や他地域との交流による地域活性化の受け皿ともなる「地域文化倶楽部」の創設を目指す。 そのため、①事業推進協力者のネットワーク構築、②舞台活動ニーズを発掘するための体験WS実施、③指導する専門家の確保、④地元指導者の養成に向けたOJT実施、⑤体験WSの教育的意義や地域振興の検証、⑥事業継続に向けた財源確保に取り組む。		
きっかけ	多様な人とのつながりで地域を活性化していくことをねらい、2018年に在京劇団と連携して市民ミュージカルを立ち上げた。オリジナル作品づくりを通して世代を超えた参加者の交流が始まり、舞台活動における主体的な学びは豊かな表現力やコミュニケーションづくりに役立った。多くの観客を前に演じきる感動は、達成感の共有や活動意欲の向上にもつながった。こうした教育的価値の高い体験活動を多くの子どもたちに提供したいと考えた。		
団体・組織等の連携			
活動場所	市内公民館で体験WSを実施、学校や教育施設では出前WSを実施		

活動概要	コロナ感染の緊急事態宣言による影響で計画変更を余儀なくされ、事業開始も大幅に遅れたが以下の活動を実施することができた。 ①子どもたちのニーズ発掘に向けて11月から出前WSを実施した。 小学校で授業（3回）、学童保育、フリースクールで体験教室（各1回）。 ②ミュージカルの一般向けWSは対象者を分けて土日に実施した。 初心者向けWSは、脚本、歌唱、ダンス、演技、大道具など舞台活動の基礎・基本を組み合わせた実技とミニ芝居の体験、指導者WSも同時に行った（11～1月、計3回）。 文化活動の定着に向けた実践的WSでは、コロナ禍で活動休止となったオリジナルミュージカル作品づくりを再開するために参加者を募り、外部専門家から脚本・演出、歌唱、ダンス、芝居・演技等の指導を受けながら舞台作品を創り上げていくWSを10月から実施した（計17回）。 ③渋川教育の日の実行委員会に参加が認められ、市民会館で開催された「まなびの日」イベントで「地域文化倶楽部」等を紹介したパネル展示の他、舞台発表で市民ミュージカルを紹介するパフォーマンスを披露し、来場者に活動をPRした。 ④WS成果の検証と今後の活動を考える地域振興フォーラムを実施した（1月）。 出前WSを実施した小学校担任から、実施内容の教育的効果について、子どもたちの感想と併せて報告があった。

〇本事業による成果

最大の成果は、今年度の取り組みを通して渋川地域の特色ある「地域文化倶楽部」の骨格が見えてきたことと次年度に向けた課題点が抽出できたことである。特に検討・運営会議で外部専門家から、全ての体験WSにおいて子どもたちが生き生きと自分たちで考えてやろうとしていた、多世代参加型の活動で大人たちが真剣に取り組む姿を間近に見て刺激を受けていた、皆でやって達成感を感じていたなど、質の高い活動内容だったと評価されたことである。以下、具体的な成果と課題点について詳述する。

①舞台芸術という文化活動に対する潜在的なニーズを顕在化できた。加えて舞台芸術においては、ニーズを掘り起こすアプローチが効果的であることが検証できた。

市内の小中学校には演劇部が存在しない現状からニーズがない可能性があったが、実際に回覧板を使った公募による一般向けWSには、各回20人程度の参加者が集まった。一方、学校向けWSでは国語科の題材を演劇的手法を使って学ぶWSを実施したが、参加した児童の約7割が初めて演劇に触れるという実態ではあったが、体験後のアンケートでは約9割の児童がまたやりたいと回答した。学校でのWS後に一般向けWSに実際に応募した児童もいた。

このことから、舞台芸術という普段馴染みのない文化芸術活動においては、実際に経験をしてみてニーズを掘り起こすというアプローチが効果的であると検証ができた。

②従来の部活動の地域移行ではなく、多世代型文化活動の受け皿を創設することが効果的であることが検証できた。

従来の同世代による部活動ではなく、多世代型文化活動の方が関われる世代が多様化することで、より地域の理解を得られて地域移行が進み易くなるのではないか、という仮説のもと、年齢を限定せず一般向けのWSを実施した。参加者のアンケートでは、多世代との交流が魅力、地域活性化につながるといった意見が多数あり、一定の効果があることが検証できた。加えて、初心者向けWSに参加した小6女子は舞台づくりを目的とした実践的WSを見学、周りの大人たちに促されて参加し、結果的にミュージカル公演に出演することになる、など、多世代の人たちとの交流を通して、活動への意欲が醸成されるといった効果も見られた。

③学校向けWSにおける教育的価値の確認ができた

渋川南小学校の児童を対象に2年生は「スイミー」、6年生は「柿山伏」を演劇的手法を用いて学習するWSを実施した。担任教諭からは、主体的、対話的に考えを深めることができた、自分と異なる意見を受け入れて共に考えていくことができたなどのコメントがあり、演劇的手法が教育過程の学びとして効果的である点が確認できたことに加え、6年生の「柿山伏」の単元テストにおいては、クラス平均点が99点となるなど、高い学習効果が得られた。これらを踏まえ、部活動としての移行のみならず、教育的意義にも着目した内容として、学校向けWSの取り組みは次年度以降も継続して行いたい。

④実践的WSが質の高い文化的活動であることが確認できたことに加え、それらを含めた活動が地域文化倶楽部として地域に根ざしていくことになるのではないかという次年度につながる構想を想起させることができた。

実践的WSを通して作り上げたミュージカル公演では、観劇者および参加者満足度の圧倒的高さから、質の高い文化的価値のある活動であることが検証できた。加えて、参加者からは継続を望む声、地域活性の一助になる、などのコメントもあり、これらを踏まえた全体構想を整理・検討する必要性を感じた。

⑤地元理解の場として、共通理解を促進する仕組みの必要性を感じた

地域振興フォーラムを通して、参加メンバーの中では活動の趣旨や報告の内容から本活動の教育的価値・文化的価値の側面を共通理解を深め、議論を交わすことができた。一方でメンバーが限定的であったため、より広く多くの人々に地域文化倶楽部の活動を発信し、地元理解、共感を得る場として、地域振興フォーラムの必要性を強く感じることができたのは、一つの成果である。

〇児童・生徒への指導に関する工夫

①小学校では国語科教材をと取り入れたことで子どもたちの関心を高めることができた。活動の導入時にコミュニケーションづくりを重視したゲームを取り入れた結果、指導者との信頼関係が構築し易くなった。このため大きな声を上げることもなく、子どもたちに常に相手の立場になった問いかけを行い、自らの意思で行動することを促し個々の考えを受け入れた。
②舞台活動は様々な役割を持った人たちで構成されていることから、指導にあたって多様な選択肢を提示して、自分に合った行動を取れるようにした。また、子どもたちの反応や提案に耳を傾けていて積極的に採用していた。不採用の場合にも提案した行為を認め、周りの子どもたちに提案者の考え方の説明を丁寧に行っていた。
③参加者にとって心身ともに安全・安心な居場所であることを常に心掛けて指導にあたった。

〇運営上の工夫

①指導者については、連携先の劇団「もんもちプロジェクト」主宰、演出家の中原さんの全面的な協力を得て、専門家を派遣していただいた。地元の経験者が指導者の補助をする形で協力してくれた。
②体験WS参加者は公募とし、市内全小中学生・教職員にチラシを頒布、市民向けには自治会回覧板を通じて周知、市内公共施設にもチラシを配布して広報を依頼した。参加し易い土日・休日の昼間に開催した。
③参加者（保護者）には、事務局メールでWSに関する情報提供を行った。
④公民館などの会場予約、運営ボランティアの手配は事務局が担当した。学校との連絡は事務局が調整役になり、授業に関する事前打ち合わせは演出家と担当教諭との間でメールで行った。
⑤体験WSの参加者は開催日に全員イベント共済保険（全国共済農業協同組合連合会）に加入した。出前WSは受け入れ教育機関の保険が摘要される管理下で実施した。
⑥本プロジェクトは生涯学習活動団体として認定登録されたため、WS会場の公民館使用料が免除された。
　教育長と生涯学習課を運営・企画委員会の構成員にしたことで学校現場への働きかけが容易になった。
⑦出前WSを実施した学童保育では管理責任者を通じて保護者の事前了解を得た。迎えの時刻に支障がないように自由に帰れるようにした。フリースクールでは近くの公民館を借りて実施した。不登校の中学生に配慮した無理のないプログラムにした。新たなコミュニケーションづくりに役立ったと参加者の感想が寄せれた。
⑧地元新聞、TV局にWS取材を積極的に働きかけ県民向けて広報をしていただいた。

〇継続的な運営に関する課題・展望

①ニーズを掘り起こす学校向けWSの負担ない形での実施方法の検討
　今年度はコロナの影響等もあり、動き出しが遅れ、ピンポイントで協力をお願いしたこともあり、1校2クラスの活動のみであったが、今後の発展性や教育活動への影響を考慮すると、年度のカリキュラムに組み込めるタイミングで前広に声がけし、興味ある学校を回るなど、極力負担ない形で実施を検討していきたい。
②地元指導人材の育成
　地元の指導人材の育成を目的にWSを計画、若干名応募があったもののコロナによる延期により、十分な活動ができなかった。指導者を育成する、という形での応募が良いのか、あるいは継続的なWSを実施する中で、自然発生的にリーダーとして指導者人材に育成してくのか、など、次年度の継続課題として取り組みたい。
③指導人材の確保
　コロナ禍ということもあり、実施可否が読めない部分もあったことの影響もあるが、一般向けWSの指導者人材のアサインが難航したことで、参加者への案内も遅れることとなったため、指導者人材を多様化させるなどの対応を持って、課題解決を図りたい。
④活動における地域認知度の強化
　今年度は始まったばかりとはいえ、地域振興フォーラムなど、より事前告知を強化するなど、活動の地元への周知を図りながら、認知を強化する必要がある。
⑤安定した事業の継続に向けた事務局体制の強化
　出前WSや体験WSの開催準備（日程、講師、会場、経費など）、参加者募集・受入れ（参加費、連絡網、保険加入など）、広報活動（公募、HP更新、PR活動など）、公演準備（会場・予算確保、チケット販売、協賛など）、市教委・市当局との調整など行う、事務局の専従人材を有償にて確保することも視野に入れ、次年度検討を行う。
⑥活動に係る安定した財源の確保
　市の財源確保などへの働きかけと共に地域振興フォーラムでの地元理解による協賛金の収集など、財源確保に向けて、次年度以降も継続的に取り組みを行う。

〇令和5年度からの学校部活動の段階的な地域移行に関する方針・計画

当団体が目指す、地域文化倶楽部の形は以下の通りである。次年度改めて地域文化倶楽部に申請を行う予定であり、その活動の中で、トライ＆エラーを重ねながら、令和5年度からの段階的地域移行に臨みたい。
＜地域文化倶楽部のあり方＞
①市教委と連携を取りながら、ニーズの掘り起こしとして、演劇的手法を用いた学校向けWSを市内の小中学校にて、年度プログラムに組み込む形で実施を行うことで、教育的側面にも着目した活動を行う。
②子どもたちのみならず、大人たちも交えた多世代型の部活動として、オリジナル作品づくりや舞台発表を目標にした継続的なWSを行うことで、より地域に身近に感じてもらいながら、多様な価値観を学ぶことのできる受け皿として、地域文化倶楽部の創設目指す。（次年度の活動の中心として、検討を行う）
③特色ある演劇活動（市民ミュージカル）として、より質の高い文化的活動を目指す。
④市内各所で地域フォーラムなどによる地元理解、賛同者の協力体制の構築を目指す。
⑤市教委が取り組むコミュニティスクールの設置、公民館を中心にした地域文化活動の強化といった動きにも関心を持ちながら、ひき続き情報交換を密に行っていきたい。

参加者（予定人数）	実績　小学2年生27名、小学6年生22名、初心者向けWS25名、実践WS51名 今後の予定人数50人以上
募集方法	体験WSの参加者募集チラシを市内全小中学生・教職員に配布した他、自治会の回覧板を通して全世帯に周知した。市役所・市教委の協力を得て、公的施設に配布した。
指導者	劇団「もんもちプロジェクト」主宰中原和樹氏ほか、外部専門家で構成（5名）
移動手段	子どもたちは保護者等による送迎
活動費用	WS参加費（保険料を含む） 初心者向け1，000円／回（中学生以下は無料） 実践向け　10，000円（全回）、公演時は別途費用を徴収
スケジュール	4月以降に体験WS参加者募集、学校向け出前WSは協力校を選定して検討したい
保険加入等	イベント共済保険（全国共済農業協同組合連合会）に加入

【活動の様子（写真添付）】

1　出前WS（渋川市立南小学校）

＜2年生物語「スイミー」でWS

＜体育用具で海の中を表現＞

＜みんなで大きな魚になる＞

＜6年生狂言「柿山伏」でWS＞NHKニュースより

＜演者たちが場面ごとの動きを話し合う＞

2　初心者向体験WS

＜舞台セットの仕掛け作り体験＞

＜ミュージカルナンバーの1シーン作り体験＞

＜小さな子どもから大人まで一緒に歌う＞

＜参加者全員でミュージカルを発表＞

＜演出家と子どもたちの対話＞

＜歌唱指導を受ける子どもたち＞

3　実践的WS（多世代の参加者）

<{真剣に演じる子どもたち（小学生）＞

＜大人と一緒に演じる＞

＜大人と二人で歌う場面＞

＜多世代の参加者たち＞

舞台での練習（公民館のホール）

＜高齢者も同じ舞台で演じる＞

＜激しい動きで演じる＞

＜子どもたちも一緒に＞

＜全員でフィナーレ＞

渋川子ども若者未来創造プロジェクト

渋川子ども若者未来創造プロジェクト（通称：渋ミュ）は、人口減少に危機感を覚えた、地元を熱く想う人たちによって発足した団体です。都会の若者との交流を通して、渋川地域の魅力発信をすることを目的として、ミュージカル公演などの活動を通して、地域活性化に取り組んでいます。
ミュージカル以外にも、“人のつながり”を意識した様々な活動を展開しています。

渋ミュの理念

一つの目標に向かって、みんなが互いに尊重しながら支え合い、高め合いながら進んでいくからこそ、本当の意味での“人のつながり”が生まれ、
“自分の居場所”と思ってもらえるような優しい空間が形作られると考えています。

また、渋ミュの活動を通して多様な価値観に触れることで培われた「人間力」は多世代が互いに手を取り合い支え合いながら実現していく地域の活性化に大きな力になると私たちは信じています。
この大きな力をさらに多くの人に広げていくために私たちはこれからも活動を続けていきます。

渋ミュにおける「人のつながり」と「居場所づくり」の特徴

未経験者も参加しているワークショップ

・参加者自らが考え、想像力・創造力を出し合う「自主性」が求められる。
・誰もが相手を否定せず異なる価値観を受け入れる「多様性」が求められる。
・自分を出せる「安全な場所」だから「人間力を磨いていく」ことができる。

オリジナルミュージカルの作品づくり

・歌、ダンス、演技、裏方など多様な表現方法が求められる。
・経験・未経験を問わずに皆で創り上げていくことが求められる。
・皆が「仲間を信じる」から最後まで「皆で支え合う」ことができる。

渋ミュ年表

2018 年

5 月　プロジェクト発足
10 月　第 1 回公演に向けた WS 始動＠旧赤木町 刀川体育館

2019 年

3 月　第 1 回公演「ばんやしろしろ」上演＠北橘公民館
　500 人の客席を 2 回とも満席、大好評のうちに幕を閉じる
4 月　実行委員会にて第 2 回公演実施決定
9 月　第 2 回公演「ばんやくらぐら 」に向けた WS 始動
　歌唱の特別練習実施
　第 1 回出前コンサート開催 @ 夢味亭ぴのん
12 月　舞台小道具 手ぬぐいデザインを地元中学生対象に募集
　第 1 回公演劇中歌「明日の空」合唱曲バージョン収録
　（渋川女子高校合唱部による）

2020 年

1 月　群馬県立女子大学文学部美学美術史学科の学生による
　舞台セットデザインで大道具製作開始
2 月　第 2 回公演「ばんやくらぐら」上演＠渋川市民会館
5 月　実行委員会にて第 3 回公演実施決定
8 月　緊急事態宣言により対面 WS 中止、オンライン WS 開始
12 月　「伝承の語り／アート体験 WS」実施＠赤城公民館
　第 3 回公演延期の決定

2021 年

1 月　デジタルオーディオミュージカル製作開始
3 月　街歩きアートイベント「SHIBUKAWA ART RELA 2020 in IKAHO」開催
　デジタルオーディオミュージカル「くれてほろほろ」上映
7 月　文化庁による・・・「地域文化倶楽部」始動
10 月　第 3 回舞台公演に向け対面 WS 再開

「地域文化倶楽部」とは

渋ミュにおけるミュージカル活動などの舞台芸術活動を通して実感しつつある、人間形成の教育的価値を、地域文化活動として定着させるとともに生涯を通して学び・体験できる環境づくりを進め、舞台芸術活動を起点とした世代間や他地域との交流による地域の活性化の実現に向けた受け皿となる「地域文化倶楽部」の創設を目指します。

文化庁では、学校における先生の働き方改革を推進するとともに、子供たちが継続的で質の高い多様な文化芸術活動の機会を確保できるよう、文化部活動の地域移行に向けた体制構築や持続可能な文化芸術活動の環境整備を行うため、休日の文化部活動を地域へ移行するためのモデル事業【地域部活動推進事業】、及び子供たちが身近な地域で継続的で質の高い活動の機会を確保できるよう、新たな受け皿となる「地域文化倶楽部」（仮称）の創設や持続可能な文化芸術活動の環境整備を行うためのモデル事業【地域文化倶楽部（仮称）創設支援事業】を実施することとして、全国から企画提案を公募しました。
渋川子ども若者未来創造プロジェクトが活動の一環として企画提案の申請を行い、審査の結果、採択されたため、令和３年に文化庁から委託を受けて取り組んでいます。

体験ワークショップ

舞台芸術活動の教育的側面を意識しながら指導をすることにより、体験を通して市民および児童生徒の人間形成を図ると同時に世代間・他地域との交流による地域活性化を促します。指導には専門家に加え、地元指導者が担います。

こども向け WS

舞台芸術の教育的側面を意識しながら、国語教材を題材に演劇的創作活動を通して、子供たちの成長を促す WS。各回題材は異なるものの、題材を演劇的に作品として作り上げていく。

学校向け WS

学校教育の中の題材を普段とは異なる演劇的創作の手法を用いて、表現方法や自由な発想を学ぶ WS。

一般向け WS

①脚本・演出、②歌唱、③ダンス、④芝居・演技、⑤舞台セットの５つから毎回２分野を組み合わせて実施。演劇的創作方法や舞台公演の製作過程を学ぶ WS。

指導者ワークショップ

舞台芸術活動の地元経験者向けに指導者育成を目的とした WS。
専門家による体験 WS での OJT での指導に加えて、ファシリテーションなどの座学も交えながら、教育的側面に配慮した指導を学んでいくことで、将来的に地元指導者の指導のもと市民が舞台芸術活動を行うことができる環境を整備します。

地域振興ワークショップ

地元市民を対象として、舞台芸術の教育的意義や地域振興における文化活動の意義とその役割について専門家による勉強会を受講する WS。
地元の理解を深めることで、地域の文化的な素地を形成すると共に文化活動による地域の活性化を促します。

渋ミュ過去作品紹介

2019 年の第 1 回公演から 2021 年上演のデジタルオーディをミュージカルまで、をこれまで
渋ミュが制作した渋川市オリジナルミュージカルを紹介します！
渋川の歴史や伝承、土地、人を題材とした、出会いと別れ、人々のつながりの物語。

第１回
渋川市オリジナルミュージカル

ぼんやしろしろ

実家の裏山の上にある小さな小さな社。小さな女の子二人と男の子一人。「ぼ・ん・や・し・ろ・し・ろ」
日暮れまで遊んだ記憶と、セミの鳴き声。ある日突然、あなたの思い出の場所が便利さと引き換えに無くなるとしたら。。。
夏の盛り、盆休み。大人も子どもも、男も女も、誰でもあるふるさとの物語。温かく切ない、ちょっと不思議なオリジナルミュージカル。

公演日　　：2019 年 3 月 16 日・17 日
場所　　：北橘公民館ホール
演出・脚本：中原和樹

第2回
渋川市オリジナルミュージカル

ばんやくらぐら

昭和 40 年代のある田舎町。その土地でずっと続いていた、名前も無いような「お祭り」。そのお祭りの存続・変化・縮小に関わる、熱い想いを持った人たちの物語。前回公演「ぼんやしろしろ」の登場人物・源蔵が若かりし頃。人の繋がりと、自分たちが生きる場所についてい の、オリジナルミュージカル第二弾！

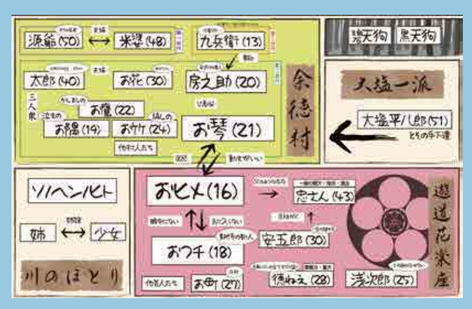
公演日　　：2020 年 2 月 23 日・24 日
場所　　：渋川市民会館 大ホール
演出・脚本：中原和樹

第３回
渋川市オリジナルデジタルオーディオミュージカル

くれてほろほろ

霧がかった川のほとり。姉を探す一人の少女は「ソノヘンノヒト」と名乗る人物と出会い、選択を迫られる。一方、江戸時代後期の宿場町。酒好きの村人と、そこにやってきた「遊道花楽座」の旅芸人たち。その一員おヒメは日々主役を狙うが、期待されるのは新人・おフチばかり。村へお遣いに出されたおヒメはひょんなことから剣術の達人・房之助とお琴に出会い・・・
ゆらゆらと、ほろほろと。人は選び、叶え、また選ぶ。いつかくっつくと信じて。「ばんやくらぐら」「ぼんやしろしろ」へと、時代を越えて思いが繋がる、出会いと別れの物語。
離れていても、きっとつながっている。詩、絵、音、伝承。
2021 年、人々の想いが詰まったオリジナル・デジタルオーディオミュージカル！

上演日　　：2021 年 3 月 13 日・13 日（渋川アートリラ 2020）
場所　　：いかほ秀水園
演出・脚本：中原和樹



渋ミュミュージカルができるまで

渋ミュの主な活動はミュージカル公演を行うことにあります。東京の劇団もんもちプロジェクトの指導のもと、公募で集まった市民たちの手によって、一から作り上げるオリジナルミュージカルで、経験は問わず、小学生から80代まで参加する幅広い年齢層が集まり、日々創作活動に取り組んでいます。

渋ミュワークショップの特徴

［特徴その1］

台本は完全オリジナル！
参加者の個性を尊重しつつ
完成していきます。

渋ミュのミュージカルはオリジナルで描かれた台本をもとに製作が進んでいきます。しかも、台本自体参加メンバーが決まってから、交流を通して得られたインスピレーションから台本を書き上げていくスタイルで、まさに完全オリジナル作品といえます。

［特徴その2］

プロによる指導のもと
初心者でも挑戦のできる
”安全な場所”です。

渋ミュの指導陣は東京でプロとして活躍するアーティスト達ばかり。経験のある指導陣が懇切丁寧に指導してくれる、かつしかも誰もが否定せず、自分を出せる“安全な場所”を作ってくれるため、初心者でも安心して、挑戦することができます。

［特徴その3］

渋川の魅力を堪能しながら、
地域みんなで
作り上げていきます。

渋ミュのミュージカル作りは、出演者・舞台スタッフだけで作られるものではありません。毎回のワークショップ時には運営ボランティアによる炊き出しが行われ、地元の食材を使った美味しいご飯を堪能しつつ、みんなで支え合いながら作品を作り上げていきます。

渋ミュを支える人々

仕組みを整える組

実行委員会

渋ミュの最終意思決定かつ内外関係者の橋渡しをしてくれている機関です。ミュージカルの練習に専念できるよう稽古場を確保したり、団体が円滑に回るよう補助金の申請や協賛の獲得など渉外活動なども行っています。

制作／会計

ミュージカル公演が終わるまでに必要な各工程を段取り、舞台制作に関わる各部門の意見を調整し、全体を管理する部門です。演出チームの要望を取りまとめ事務局と調整したり、全ての部門とやり取りをし渋ミュの運営を取りまとめるブレーン的存在です。

広報

渋ミュの魅力を団体の外に発信する窓口です。舞台のパンフレットの制作から、SNSの運営、ブログ・SNSの更新に至るまで、ひとりでも多くの方に渋ミュの活動を知っていただき、応援してもらえるように日々情報の発信をしています。

運営ボランティア♪

有志で渋ミュの活動を支えてくださっている皆さんです。ミュージカル制作に関わるみんなが作品作りに集中できるよう賄いを作ってくれたり、ワークショップが円滑に進むように準備をしてくれたりと、裏で渋ミュの活動を支えてくださっています。

作品を作る組

キャスト

渋ミュでは年齢、経験問わず、やりたい！と思った人はみなさん役者としてミュージカルに挑戦することができます。現在、小学生～80代までの幅広い年齢層の方々が活躍しています。

作詞／作曲

作曲家が作ってくれた音楽に合わせて振り付けを考え、役者に指導します。歌唱指導とタッグを組み、歌と踊り、両方のバランスが最適になるように調整します。ワークショップ前のウォーミングアップも担当します。

演 出

舞台制作の舵取り役です。役者の指導から、衣装、舞台美術、照明の切り替えに至るまで、作品の全てを取り仕切ります。渋ミュでは、演出家・中原和樹さんが演出を取り仕切っています。

歌唱指導

みんなの想いが舞台を観るお客さんに最大限届くよう、歌の側面から役者をサポートする存在です。楽譜の読み方から発声法まで、役者の音楽に関わる幅広い悩みに寄り添い、支えます。

演出助手

演出家が演出に集中できるように30名を超える役者のスケジュール管理や彼らのサポート、振り付けや歌唱指導など、舞台制作に関わる他部門とも調整をし、本番まで円滑に舞台制作が進むようにします。

振付／ダンス指導

ミュージカルの根幹である音楽を生み出す部門。主に演出家である中原氏が書き上げた脚本の世界観を十二分に表せるように音を紡ぎ、編曲を重ねて一曲一曲魂を込めて作成していきます。

舞台を作る組

大道具

お芝居の世界観を作り出すため、演出家と打ち合わせを行いながら、様々な材料を用いて舞台のセットを準備します。作った舞台美術が実際に舞台に乗った時の感動は計り知れません。

衣装／小道具

衣装の面から役者の演技を後押しする部門。演出家と打ち合わせをしながら配役に一番合うような衣装案を考え、準備をします。渋ミュでは主に有志で提供を受けた衣装の中から舞台衣装を組み合わせて着ます。

音響

本番の音出し、役者のピンマイク、ステージマイクの音量管理、など心地よくお客さんが舞台を楽しんでもらえるよう、最新の注意を払いながら音の調節をします。

舞台監督

舞台上のリスクマネジメント、進行を一手に請け負う人です。会場入りした後一番偉い人でもあります。舞台準備から片付け・撤収まで事故なく公演を終えられるよう、スケジュール通りに公演が進むよう常に目を光らせています。

照明

舞台上の照明を自在に操り、シーンを光の観点から盛り上げます。照明のタイミングは舞台の成否に直結するほど大きな役割を占めます。考えたライティングを褒められた時の嬉しさは何者にも変え難いです。

派生プロジェクト

活動の幅をミュージカル公演以外にも広げることで、より多くの人たちとつながることができると考えています。この様々な活動を通して、渋ミュが培ってきた“人のつながり”をより多くの人に体験してもらうことで、渋ミュを自分の“居場所”として感じてもらえるようにしていきたいと考えています。

SHIBUKAWA ART RELA

数多くの芸術が育まれた渋川で、渋川独自のストーリーである、地域に伝わる昔話や伝承を別の形で表現することで、地域の魅力の再発見・発信につながるのではないかと私たちは考えました。
また、このアートイベントを通して関係者のみならず参加者の皆様ともつながることで、多世代が関わり、人と人のつながりが生まれ、地域活性化の一助となればと考えています。

◀2020 年度「SHIBUKAWA ART RELA 2020 in 伊香保」特設サイト
展示作品の詳細やコンテンツを掲載しています。
URL：https://www.shibumyu.com/shibukawaartrela2020

渋ミュ出前コンサート

コンセプトは、「劇場から飛び出して” 出前” のように身近なところへ上質な音楽を提供する」こと。

全国で活躍する音楽家たちを集め、渋川市民の方々へ上質な音楽に触れる機会を増やすことを目的として、コンサートを行う活動を行っています。
過去３回は伊香保温泉とのコラボとして、旅館をベースに活動してまいりましたが、今後伊香保以外でも活動をしていきたいと考えています。

◀2020 年出前コンサートレポート（渋ミュブログ）
URL：https://ameblo.jp/shibumirai/entry-12568307597.html

明日の空プロジェクト

第１回公演「ぼんやしろしろ」の劇中歌『明日の空』。

この曲を合唱曲としてアレンジすることで、また別の表現方法として、より多くの人に広げていけるのではないかと考え、このプロジェクトを立ち上げました。

出会いと別れを表現したこの曲を、これからそれらを経験するであろう中高生を中心に
歌ってもらうことで、多くの人にこの曲を知ってもらう
ための活動を今後継続して行っていきます。

◀渋川女子高校コーラス部による収録レポート（渋ミュブログ）
URL：https://ameblo.jp/shibumirai/entry-12560116074.html

つながるプロジェクト

コロナ禍で対面で会えなくなってしまった渋ミュの皆さんにこれまでのつながりを感じ、思い出してもらうために発足。第一弾ミュージカル：ばんやくらぐら、第二弾ミュージカル：ぼんやしろしろの劇中歌でもある「喫茶店ハナ」を歌ったもの、踊ったもの、花の写真を撮ったものなど自由に集め、一つの作品にしました！
ラスト 25 人で踊る喫茶店ハナ、圧巻です！
こちら YouTube でも観ることができますのでぜ ひチェックしてみてください！

◀つながるプロジェクト「喫茶店ハナ」の動画はこちら
または、Youtube で「渋ミュ つながるプロジェクト」で検索
URL：https://youtu.be/QOsRVk_klck

渋ミュの HP ／ SNS

日々のワークショップの様子や今後の派生プロジェクトの実施など随時更新しています。「渋ミュ」で検索。

ホームページ
URL：https://www.shibumyu.com

ブログ
URL：https://ameblo.jp/shibumirai/

@shibumyu

（5）（全面広告）2021年（令和3年）12月5日（日曜日）

西北毛

下仁田ネギ 旬を味わう

道の駅で収穫体験

下仁田 旬を迎えた下仁田ネギの収穫体験会が4日、道の駅しもにた（下仁田町馬山）の近くの畑で始まった。50人が大きく育ったネギを土から引き抜いたり、焼きたてを味わった＝写真。

靴で畑を踏み締め、両手でネギを取り上げた。横浜市の馬杉篤司さん(50)は「みずみずしくて甘い」と焼きたてを頬張った。

特産品を発信しようと町が主催した。初めての昨年が好評だったことから今年は規模を広げた。ネギは今月中旬にかけてさらにおいしくなるという。

体験会は19日までの土日に1日8回開く。所要時間は約30分。参加料は1人千円で、ネギ5本を持ち帰れる。当日予約が可能の日もある。問い合わせは共催する町観光協会（☎0274・67・7500）へ。

（細井啓三）

心の内 鮮やかに

市役所で障害者作品展

富岡 富岡市障害者作品展が9日まで同市役所で開かれている。ペンやクレヨン、色鉛筆といった画材で、心の内を鮮やかに表現した70点が飾られている＝写真。

同市後賀で障害福祉サービス事業を展開する社会福祉法人「上州水土舎」の利用者の絵画を集めた。成人した知的障害者や精神障害者らが、さまざまな手法で仕上げた個性豊かな作品がそろう。

山や花、動物、人物などと題材も多岐にわたる。色を重ねたり、四角形を並べたりした抽象画もある。

同市は「障害者の文化芸術活動を推進している。来庁の際に見てほしい」とする。

（細井啓三）

人権ポスターコンテスト

金井さん（富岡吉田小）に最高賞

5市町村の入賞者14人表彰

富岡 富岡、下仁田、南牧、甘楽、上野5市町村の小学5年生を対象にした「第18回人権ポスターコンテスト」の表彰式が4日、富岡市生涯学習センターで開かれ、最高賞の前橋地方法務局富岡支局長賞に選ばれた金井結菜さん（富岡吉田小）ら14人に賞状が贈られた＝写真。

他人を思いやる心について考えてもらうため、同支局と富岡人権擁護委員協議会が毎年開いている。今回は5市町村から516点の応募があった。入賞作を含む79点のポスターは7日まで同センターに飾る。

第40回全国中学生人権作文コンテストの優秀作品も発表され、同協議会長賞に選ばれた大日方理央さん（富岡東中2年）が受賞作を朗読した。

（細井啓三）

神楽殿修復 祝い舞披露

戸塚神社で太々神楽

藤岡 老朽化していた戸塚神社（藤岡市）の神楽殿の改修が完了したことを祝い、太々神楽が4日、同神社に奉納された＝写真。地域住民ら約40人が表現豊かな舞に見入り、完成を喜んだ。

神楽殿は150年以上前に建てられたとされ、床の腐食など老朽化が著しかった。総代の呼び掛けで集まった地域住民からの寄付などを使い、10月から改修を開始。約1カ月かけて床の大部分や欄干が張り替えられ、朱色も塗り直された。

神楽は「戸塚神社郷土芸能保存会」の8人が奉納。笛や太鼓の音色に合わせ鮮やかな舞が披露された。浅見武義総代長は「地域でもり立てながら、歴史ある神社を残していきたい」と話した。

（村山拓未）

発炎筒の着火体験

県警高速隊ら事故防止啓発

安中 冬の県民交通安全運動に合わせ、県警高速隊（小室篤隊長）は4日、安中市の上信越道下り線横川サービスエリアで、ネクスコ東日本などと合同で事故防止キャンペーンを実施した。発炎筒の着火体験やパトカー展示、タイヤの滑り止めチェーンの紹介などに、多くのドライバーが足を止めていた＝写真。

着火体験で、隊員は「5分ほどで消えるので、その間に通報やガードレール外への避難を」などとアドバイスした。交通安全を啓発する「ぐんまハイウェイレディ」の4人も、チラシの入ったトートバッグを配って安全運転を呼び掛けた。

（真尾敦）

「スイミー」の世界 全身で

南小2年生 演劇を体験

渋川 市民ミュージカルなどを手掛ける「渋川子ども若者未来創造プロジェクト」は3日、ミュージカルの出前講座を渋川南小（森田満校長）で開いた。2年生27人とともに絵本「スイミー」の世界を演じ上げた＝写真。

子どもたちは海底の岩に見立てた跳び箱に隠れたり、魚やクラゲの動きを全身で表現。千木良蒼介君は「うまくいった。練習して良かった」と話した。1年生と6年生の前で披露した。

プロジェクトを指導する劇団もんもちプロジェクト（東京都）の中原和樹さん(36)は「学校教材も演劇を通じて違う見方ができたはず」と語った。

（赤尾颯太）

令和３年度

「地域文化倶楽部（仮説）創設支援事業」

WS参加者アンケート結果

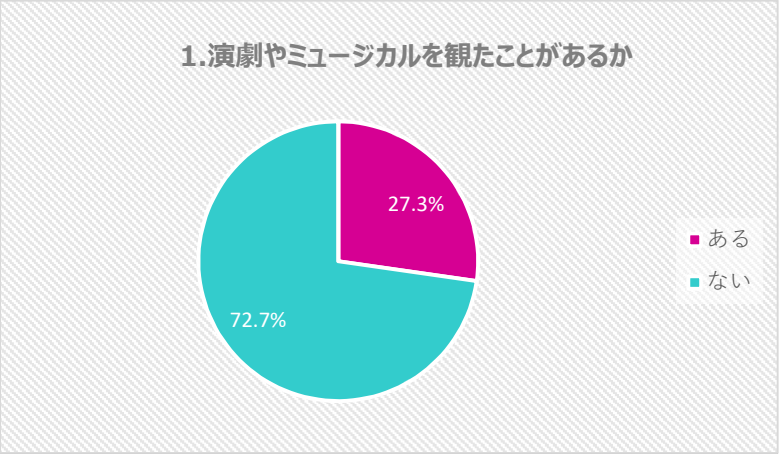
渋川子ども若者未来創造プロジェクト

渋川市立渋川南小学校　出前ＷＳ　アンケート結果

日時　　令和３年１２月２日（木）
対象　　６年生児童２２名

1　今までに演劇やミュージカルを観たことがありますか？

ある	27.3%	6
ない	72.7%	16
		22



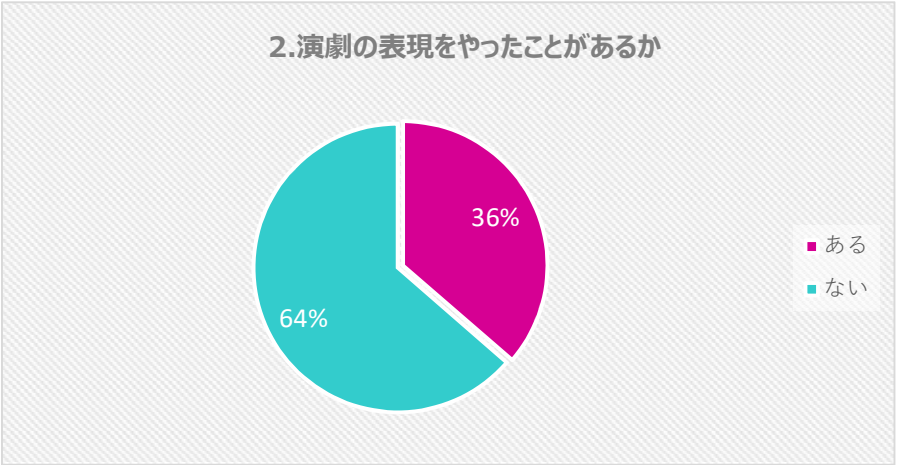
ある人はどこで観ましたか？

市民会館	33.3%	2
他の劇場	33.3%	2
ＴＶや映画	33.3%	2
		6

＜コメント＞
・観たことのない子どもが多い。市民会館で観る機会も少ない。実情は舞台公演がない

2　演劇の表現を今までにやったことがありますか？

ある	36%	8
ない	64%	14
		22



ある人はどこで体験しましたか？

幼・保発表会	100%	8
授業	0%	0
イベント	0%	0
その他	0%	0
		8

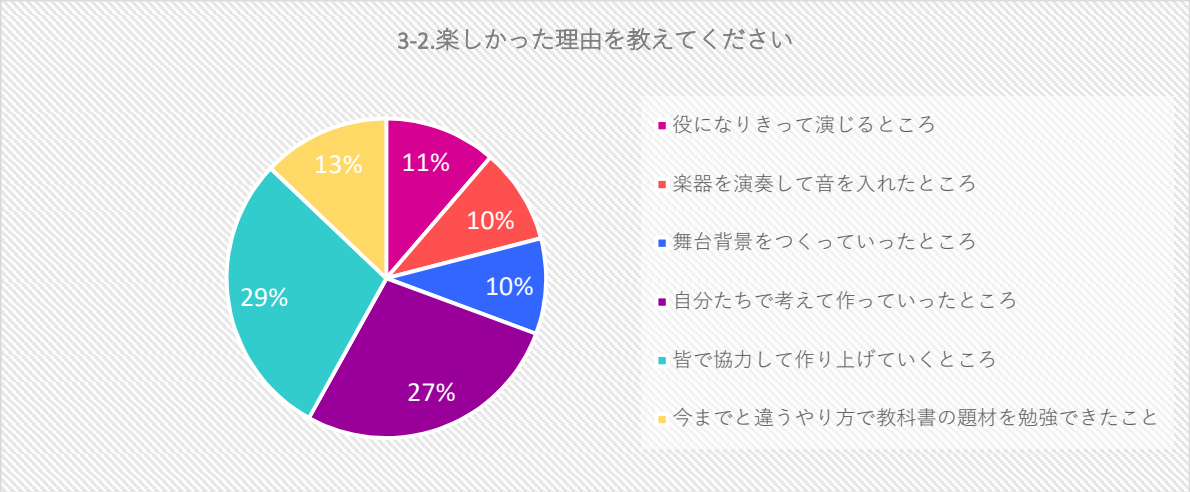
＜コメント＞
・演劇体験が幼稚園や保育園の発表会しかないことも分かった。

3　狂言「柿山伏」で演劇の表現をやってみて楽しかったですか？

楽しかった	100%	22
楽しくなかった	0%	0
		22

楽しかった理由は何か？（複数回答可）

役になりきって演じるところ	11%	7
楽器を演奏して音を入れたところ	10%	6
舞台背景をつくっていったところ	10%	6
自分たちで考えて作っていったところ	27%	17
皆で協力して作り上げていくところ	29%	18
今までと違うやり方で教材を勉強できたこと	13%	8
		62



＜コメント＞

・演出家の指導の効果もあって全員が楽しかったと回答した。

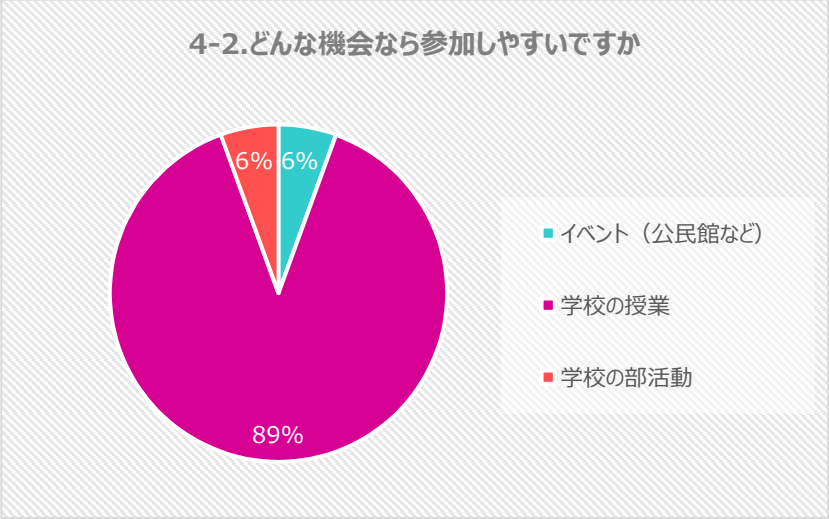
・自分たちで考えて、皆と一緒に創り上げた達成感が好印象につながったようだ。

4　今回体験したような物語を実際に作っていく体験講座があったら、やってみたいですか？

はい	82%	18
いいえ	18%	4
		22

どんな形が参加しやすいですか？

イベント	6%	1
授業	89%	16
部活動	6%	1
		18



＜コメント＞

・演劇体験には興味をある。授業で同級生と一緒にやる形が参加しやすいことがわかった。

5　今回の体験で気づいたことはどんなことですか？（自由記述）

1	６年１組で自分たちの柿山伏を作ってとても楽しかったです。例えば、楽器を入れてみたりだとか、学校にあるものだけで背景を作ったり、柿山伏にない役をやってみたりと６年１組だけの作品になったので、一生の思い出になると思いました。
2	みんなと協力することの良さが分かっていい思い出がつくれました。
3	初めてこうゆう体験講座をやってもらって楽しかったです
4	演じるのは恥ずかしかったけど、背景作りは楽しかった。
5	実際に自分たちがやるとなると場面一つ一つを考えながらできたので、教科書を読んでいるだけじゃ分からなかったことや授業で考えなかったことも学ぶことができました。
6	見たり読んだりじゃなくて自分もなりきれて完成するとすごくいい気分だなと思いました。こんなに楽しいとは思いませんでした。もう一回やってみたいなと思いました。
7	自分たちで自分に演出したり、演奏したりできて楽しかったです。テレビの人が来ててきんちょうしたけれどいい経験になりました。楽しかったのでまたやりたいなと思いました。
8	群馬県初の取り組みだということで、どうすればいいのか分からず思いついたものをどんどん言って、面白ければ即採用、面白くなくても改善するという感じでやった気がするので、結構面白くできたんじゃないかなと思います。
9	それぞれの役を演じることで自然とみんなで協力しておもしろい物語ができた。
10	教室じゃない場所でやってみて最初はきんちょうしたけれど、みんなで考えて一つの作品を作り上げてとても楽しかったし、内容を深く知ることができてよかったです。また機会があったらやってみたいです。
11	教科書の勉強を教室以外でやるのはあまりないので楽しかったし、別のやり方で学べたので楽しかったです。

12	教科書とはちがって、他の役ができてとてもおもしろかったです
13	舞台を一からつくる大変さがよくわかりました。小さいときによく動物が出てくるミュージカルを見ていたけど、それは台本からつくらないといけないので、大変だなと思いました。また、機会があったらやってみたいです。
14	実際にやってみる事で、物語（柿山伏）がよく分かって授業がより分かるようになったと思いました。クラスの全員で協力して作るのでとても達成感がうまれたし楽しかったです。演劇をつくるのはとても大変なんだと思いました。いい経験ができてよかったです。
15	実際にやってみて、柿山伏についての気持ちがわかりました。
16	実際にやってみて、物語の人の気持ちがわかりました。
17	とても勉強になりました。この授業をやってとてもよかったと思いました。教えてくれた人が優しくしてくれたのでとてもうれしかったです。ありがとうございました。
18	教科書には黒子というのがなかったので、黒子を入れてこと
19	前は柿山伏などの伝統芸能は良く分からなかったけれど、今回のワークショップをやってみて前よりも身近に感じられました。
20	今まではやることを指定されていたけれど、今回は自分たちで考えてやったので、自分たちなりのものを作ると楽しんだなと感じました。
21	自分たちで作って演じたら、すごい達成感があっておもしろかったです。

6　中学校に入学したらどんな部活動をやってみたいですか？
　どんな部活動があるといいですか？

	中学校の部活動（現状）		どんな部活動があるといいか
	運動部	文化部	
1	バドミントン		写真部、吹奏楽部
2	野球部		バッティング
3			陸上部
4	サッカー		陸上部
5			料理
6	バドミントン		陸上部
7	バドミントン		書道部
8			ｅスポーツ
9			料理、茶道
10			ピアノ、書道、折り紙
11			写真部
12	サッカー		ｅスポーツ
13	バドミントン		飼育部
14			演劇部、日舞
15	サッカー		陸上部
16			ｅスポーツ
17			何か演技をする部活に入りたいです。理由は柿山伏をして、人に何かを伝える大切さなどいろいろ学んだからです。
18	バスケット		演劇をしたいです
19		写真部	天文部
20	バドミントン		サッカー
21		美術部	美術部
22	剣道部		書道、パソコン、器械体操、新体操

＜コメント＞
・中学校の現状はスポーツ中心の部活動、子どもたちのニーズに対応できていない。

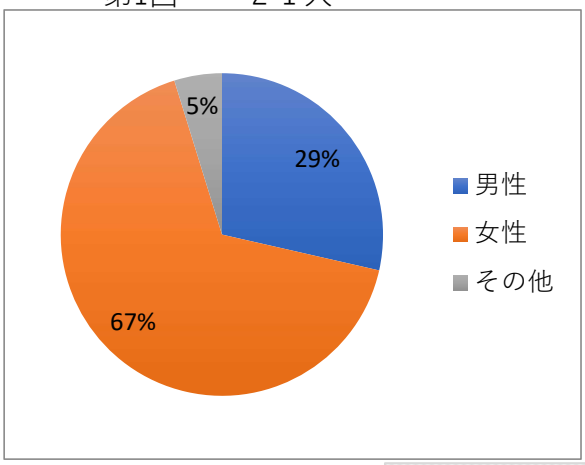
初心者向け体験ＷＳ　アンケート結果

第1回　　令和３年１１月２３日（祝）
第2回　　令和３年１２月２６日（日）
第3回　　令和４年　１月２９日（土）

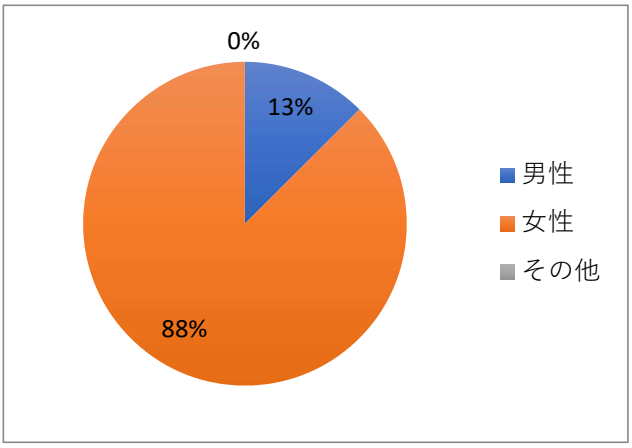
1　基本情報

（1）参加者

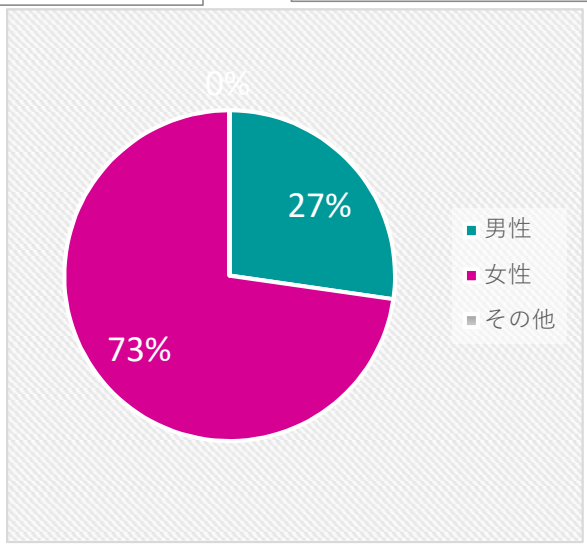
第1回　　２１人



第2回　　１７人

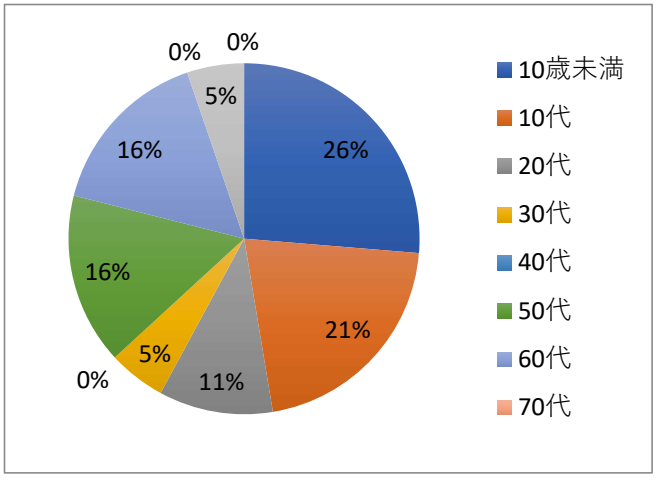


第3回　　１１人

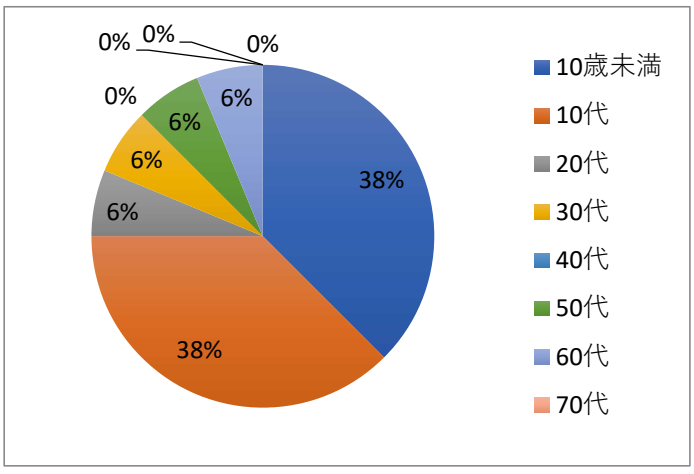


（2）年齢構成

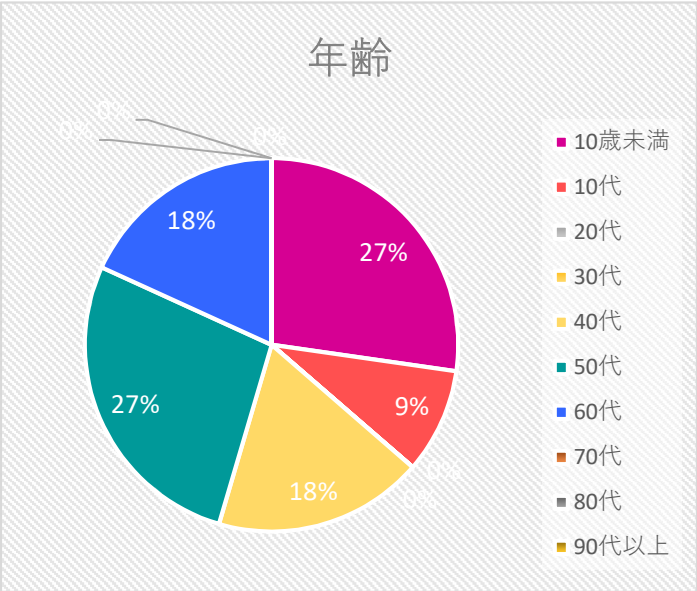
第1回



第2回

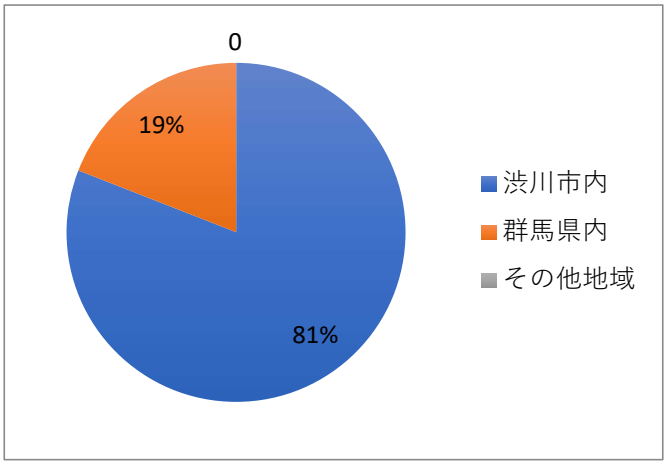


第3回

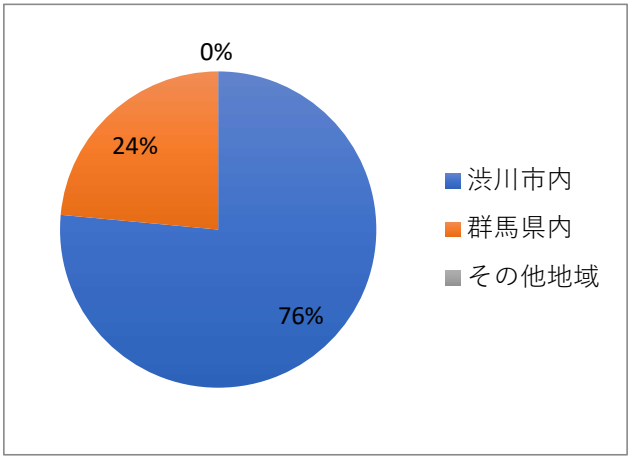


（3）居住地

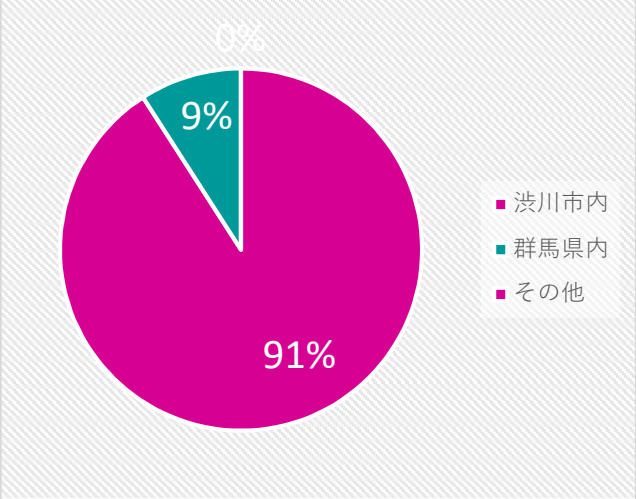
第1回



第2回



第3回



＜コメント＞

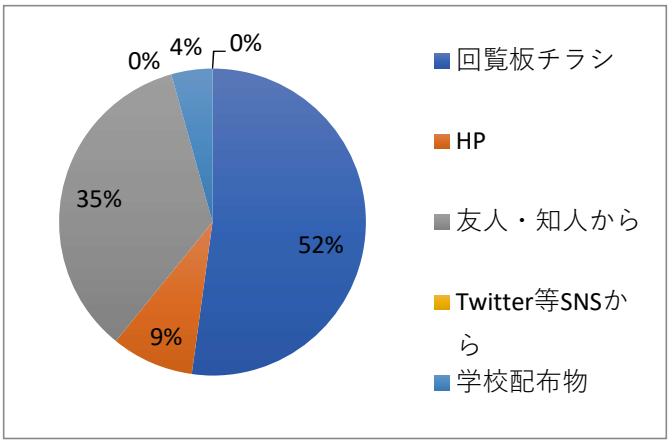
・参加者は女性が多数を占めていた。

・幅広い年齢層が参加していた

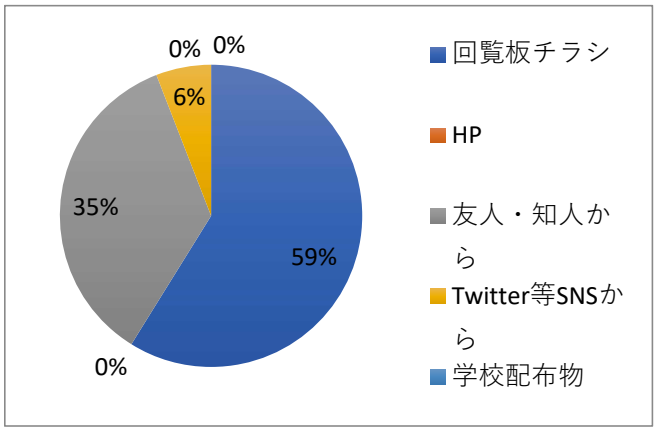
・市内の参加者がほとんどであった。

2　体験ＷＳのことを何で知りましたか（複数回答可）

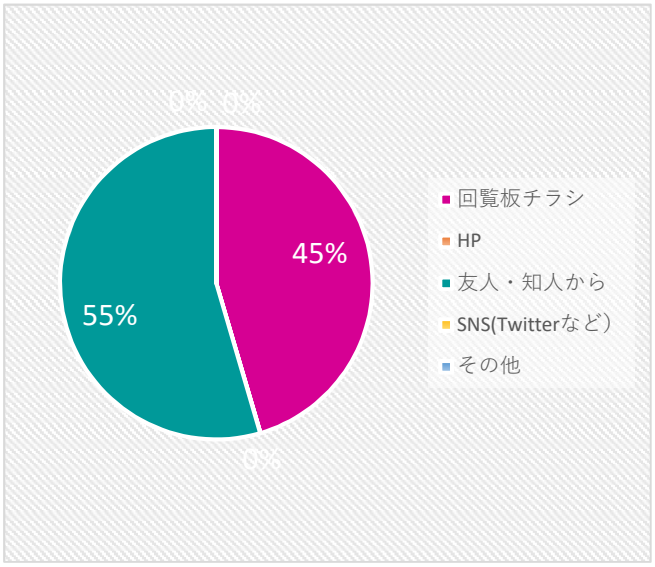
第1回



第2回



第3回



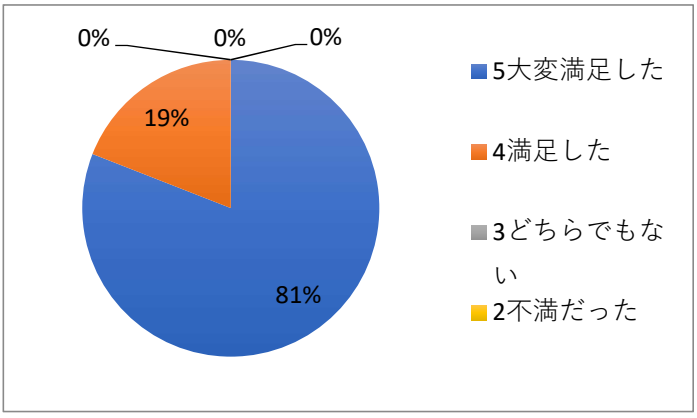
＜コメント＞

・回覧板で市民に周知した効果はあった。

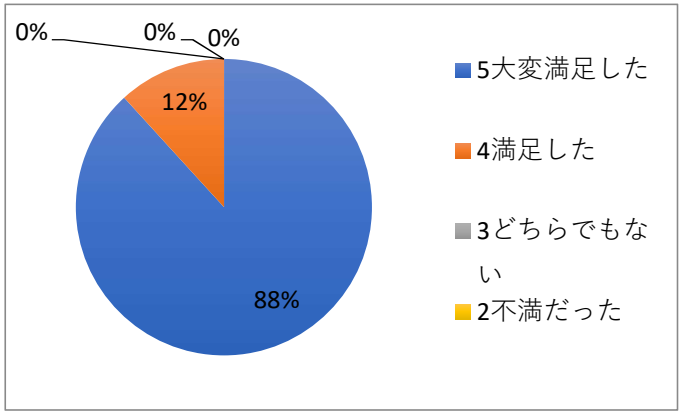
・友人･知人らの情報提供も大きい。（体験者の口コミが有効）

3　参加した感想

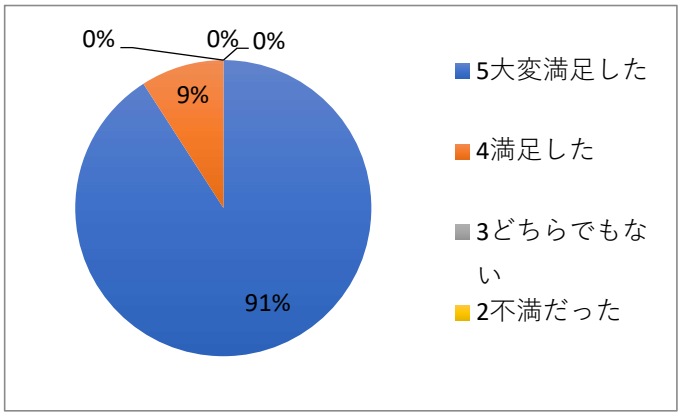
第1回



第2回



第3回



＜コメント＞

・充実した体験内容に参加者の満足度は毎回高かった。

参加者の感想

＜第1回＞

喫茶店ハナが大変だったけど楽しかった
初め、子供達（３兄弟）には難しいなようかなと思いましたが、色々興味を持ってワークショップに取り組んでいたのでとても良かったです。
その場、参加者の希望で体験する内容を決めてくださっていたのでありがたく楽しかったです。
セットについてなど専門的なこともあり、全ては理解できないこともありましたが、体験ミュージカルなど楽しく受けさせていただきました。
舞台美術の考え方、演出での魅せ方について説明が理解できた
ミュージカルの体験、色々な世代と関われたこと
やはり実際に１シーンを作っていくというのは楽しく、達成感がありました。もっと歌いたかった
演じる側だけではなく、作る側のお話を聞けたことが大変勉強になりました。また、この短期間で１シーンができるのだ！とやりながら驚くと共に、どの年代の人でも楽しめる演劇って素晴らしい
美術さんの意味がよくわかった。何か作るだけなら大工さんだが、物語の中をよく理解して動いて
楽しかった、知らない人でも一緒に楽しんで体験できて良かったです
舞台監督の座学が思ったより本格的で楽しかったです。スライドをメモする時間がもう少し欲しかったです。実技もとても面白くて皆と打ちとけ合いながらリラックスして取り組めました。
楽しかったです。
皆と仲良くできてよかったです。初めてでしたが慣れがすぐでて楽しかったです。
実際に舞台で演目ができたこと、舞台美術
ミュージカルの歌をしたところ
とても楽しかった。気持ちの上げ方等とても勉強になりました。ミュージカルはやはり楽しいで
楽しくできました、美術が少しわかりました

＜第2回＞

気持ちよく歌えました♩そしてとても楽しくミュージカル体験できました。楽しかったです。
踊ったりするのが楽しかった
プロの演出家の方のご指導で、一つの作品を作り、皆で演じ、歌えたのが楽しかったです。
歌の講座が楽しかったです。
初めて歌の指導をしてもらったけど、とても楽しかったです。劇では前回よりも本格的だったので大変だったけど良い思い出になりました。
新しいミュージカルの技術を知ることができた
歌が楽しかった（５歳男）
歌唱指導の先生が雰囲気づくりもよく、とても楽しい気持ちで歌えました。勉強になりました。ミュージカルづくりも前回もたのしかったですが、今回はより楽しんでできました。やりがいと達成感を得られました。ありがとうございました。
プロの先生に指導してもらえて良かった。みんなで作る達成感が感じられた。
高校時代の部活を思い出し、すごく楽しく取り組むことができました。
歌唱指導（歌詞から自分の感じを声で表すところ）

その場で作り上げたミュージカル
ミュージカルで演技などできて楽しかったし、いい思い出になりました。
劇の体験が楽しかった。

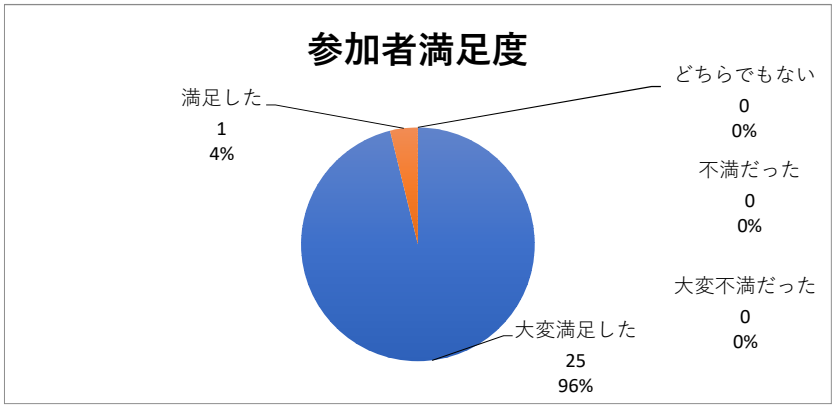
＜第3回＞

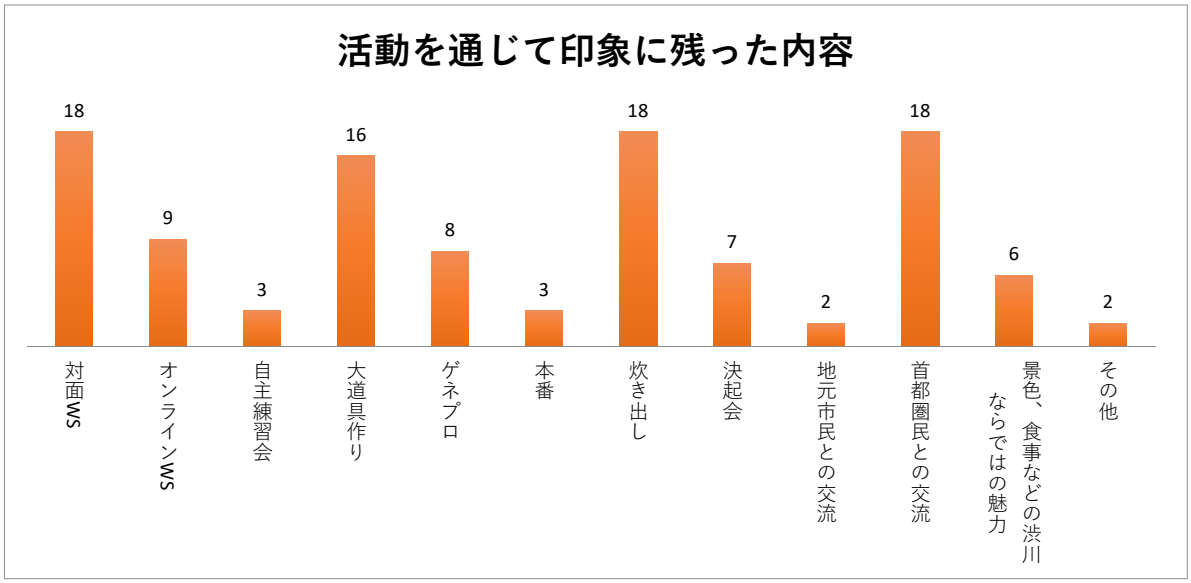
見学だけでしたが観ているだけでも楽しかったです
何もかもすべて初めての体験だったのですがとても楽しく自分を表現することができました、また参加したいです
芝居が楽しかった
今回のミュージカル体験をさせていただき、計３回とも参加して、子供の普段歌う声が大きくなったり、行動がせっきょくてきになったりして、いい変化がみられて嬉しかったです。
歌ったり、踊ったりを皆で行うことはとても楽しい
ミュージカルの練習が大変だったけど楽しかった
子供たちがとても楽しそうに積極的になっていてとてもよかったです。
とてもレベルが高いと思いました！身体も頭も使って楽しかったです。ミュージカル体験講座の講師の皆様が本当に素晴らしく、わかりやすくて、未経験の私にも楽しかったです。
歌、ダンス、振り付け、すべてを入れて練習をしたこと。舞台装置の話もきょみ深かった
3時間でつくりあげたこと素晴らしい、楽しかった
歌詞を覚えることが大変だったけど、楽しくミュージカルができました！みんな面白くてよかった

舞台公演参加者　アンケート結果

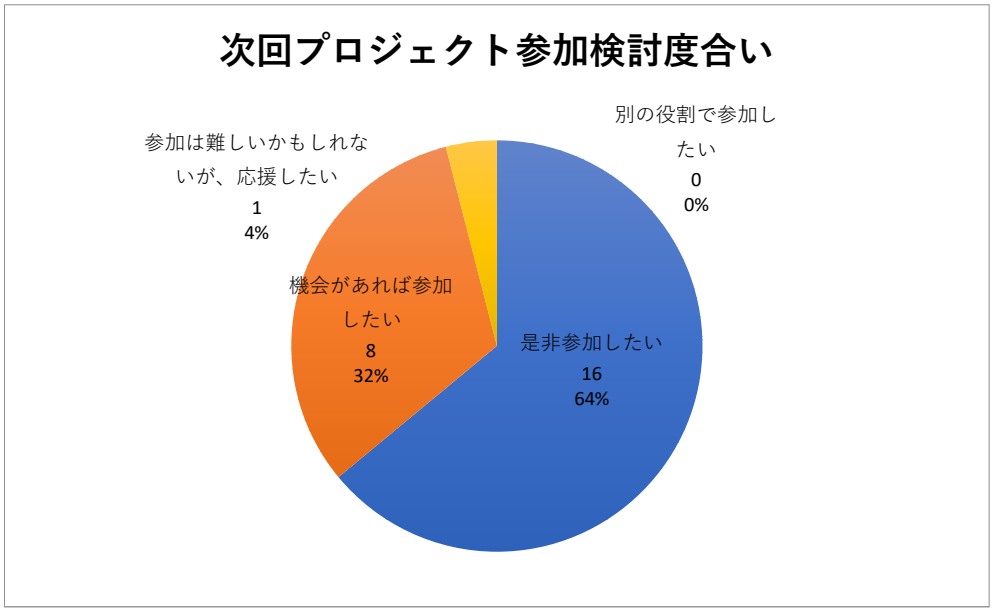
２６人回答

1　参加した満足度、どんな活動が印象に残っていますか？





2　今後の活動への参加について



3 参加した感想（自由記述）

1	楽しくやれました。皆様の足を引っ張りつつ最後までできたことがよかったと思います。
2	自分の人生にとって最も大切な時間となりました。もっと書きたいことは山ほどありますが、時間がないため省略させていただきます。わっしょい！
3	練習した成果を発揮できたと思います。 コロナがあって色々大変でしたが、仲間と協力できてうれしい。 この公演を十分に楽しめた。最高です！！
4	宝物のような時間をありがとうございました。今回舞台の上のイスに座ってみんなの真剣な表情を直近で見ることができて最高に幸せでした。支えてくださった全ての方々のおかげです。ありがとうございました。そしてご飯がとってもおいしかったです！！
5	ようやっと終われた。役を送り出すことができた。一番良い形。それがとても嬉しい。
6	すっごく楽しかったです。緊張したけど、みんなとたくさん仲良くできて、協力もできて、最高の日々が続きました。ダンスも歌も全てが楽しく幸せでした。
7	沢山の人のおかげで無事に終えられたことが何より嬉しいです。幸せでした。
8	公演を行うことができ、とても嬉しく思います。「くれてほろほろ」を通して、沢山の人と出会い、思いを積み上げていく中で大切な事を沢山得ることができました。ステキな景色を見ることを叶えてくれた皆さんに感謝です。出会えてよかった！！
9	久しぶりに舞台に立ちましたが、楽しさを思い出しました。本番までの期間が長かったので、早く公演したい！とも思いましたが、これだけの時間があったから、役とも向き合えたと思います。
10	一つの作品を作ってお客さんに届けるのに、多くの人が関わって、助けあって、支えあっていることを実感しました。この場所にいられること、みんなと出会えたこと、本当に幸せです。参加できて本当に良かった。ありがとうございました。
11	今回初めて渋ミュに参加して自分の居場所ができました。本当に全てのことが宝物で本当に参加してよかったと思います。そして、無事に幕が下りたこと本当に嬉しく思います。また参加したいです！！これに関わった全ての方に感謝を込めて♡‥
12	本当に上演できて良かったです。あきらめなくて良かった。最後までやりきれました。ありがとうございました。ずっと支えてくれたスタッフのみなさんには頭が上がりません。感謝！！！またミュージカル公演があれば関わりたいです！
13	みんな最高でした！1年半という長い期間を超え、上演できたことはこのプロジェクトに関わるすべての人の想いが集結したからこそだと思っています。感謝の気持ちを忘れず、この思い出を宝物として心にしまっておきたいと思います。「一期一会ぞこの世の理」すべての出会いに感謝です。
14	皆様の協力の元、いろいろな方が関わっていて造りあげていて、すばらしいなと感激しております。
15	大変な状況の中でたくさんの挑戦と、発見と成長が、この”くれてほろほろ”の活動の中で得ることができたと思います。
16	群馬の方々の温かい人柄にたくさん触れることができて、自分まであたたかい気持ちになれた。 また演技とみんなと作品を作り上げる楽しさを感じることができてとても幸せだった。
17	とにかく脚本が良いので（心温まる内容）参加できて幸せでした。コロナ禍の中でも、皆が協力して感染対策を徹底してやってすごい集団で自分が関われたことを誇りに思います。お客様も確実に元気をもらって帰ってくれたはずです。スタッフの皆様本当にありがとうございました。
18	・コロナの中、みんなで上演できてよかった。 ・みんな迫力があって、ついていけるか心配だったけど、最高のミュージカルにできた。
19	約1カ月しか出演者として参加できませんでしたが、もっとずっと長くみんなと一緒にいたかのような感覚になったくらい濃密な時間でした。役を演じるということの難しさを初めて知りましたが、少しは自分なりの気持ちを最後に出せた気がして、とても素敵な経験になりました。
20	2年間という長丁場、皆、毎回一生懸命真剣にやっている姿を見て感動していました。 その結果素晴らしい公演ができたと思います。 私は初めての経験でしたが本当に楽しかったです。
21	とても楽しかったです。またやりたいです。
22	1年やってみてすごく楽しくてまいにちやる日がたのしみにしていました。
23	みんなと一緒に本番ができてうれしかったです。
24	大変結構
25	参加日数は少なかったですが、とても良いけいけんが出来ました。色々ごめいわくをおかけしたかもしれませんが、とても楽しかったです。
26	当初は初参加の人には敷居が高いのではないか、負担が大きく感じられるのではないかと思った部分（WSの進め方、演出等）もありましたが、本番の舞台上で自身はとても得るものが大きい舞台でした。次回参加ではもっと他の参加者を支えられるようがんばれたらと思います。

4　世代間交流や地域活性化等、プロジェクト活動への意見

1	小学生と交流できたことがよかったので、続けて欲しい
2	次のプロジェクトにもぜひ参加させていただきたいです！！！
3	年齢など関係なくみんなで協力して楽しくできればいいなと思う。
4	今後もミュージカルを通して地域交流ができる場があると素敵だと思います。アートリラで交流した方が今回見にきてくださって嬉しかったです。
5	ミュージカル公演は続けていきたいという思いがある。が、活動規模に対して、運営の仕事が重すぎるという気もする。バランスが難しい。
6	仲間が増えて、笑顔も増えて、みんなが幸せな活動を行いたいです。また、お客さんも楽しめて、自分も楽しめるような劇にしたいです。
7	これからもミュージカルやらせてください。ずっとずっとずっと続いて欲しいです。死ぬまでやりたい。私の居場所だから。
8	ぜひミュージカルの公演を希望します。また参加したいです。
9	参加しなかったら、出会えなかった人たちにたくさん出会えてよかったです。ミュージカルやっていることは前から知っていましたが、キャスト以外に関わってくれる人がこんなにいるとは思ってませんでした。
10	今後も同様の形態を続けていってほしいです。東京メンバーに頼りきりにならないように、だんだんと参加者の中でも練習（アップとか）をしきれる人が出てこられるといいなと思います。（自分もそうなりたいという気持ちもこめて）
11	これからもずっと続いてほしいです。ミュージカルが好きです。ありがとうございました！！
12	ミュージカルに出演したい気持ちはまだまだあるので機会があればやりたいです。また、子どもたちを対象にしたWSなどがあればお手伝いをしてみたいなと思います。コロナが落ち着いたら沢山の人と関われる活動が始まることを願っています。
13	ミュージカルを続けていきたいです。今後も活動が続くのならばキャストとして参加したいと思っています。たくさんの人の居場所になるといいな。…ただ、オンラインでやるのならば参加はしないかもしれません。まだ分からないけれど。
14	もっと沢山の方々が参加できるようにアウトプットしていけたらと思います。
15	渋ミュは、ただミュージカルが好きな人が集まる場所ではなく、大人も子どもも挑戦しつづけ学びつづけることができる中々無い空間だと思います。これからもこの場所を残したいし、もっとお手伝いできるようになりたい！！です！！！！
16	祭事に積極的に参加することでこのプロジェクトをより多くの人に知ってもらうことができると思う。 このプロジェクトは多くの人の人生に新しい風を吹かせてくれると思っているから大切にすると共に是非継続して欲しい。
17	他県や他地域の人達が渋川を訪れて好きになってくれるきっかけ作りとしてずっと続いてほしいと思います。小学校や学童施設への出張WSは特にすばらしい活動だと思います。ミュージカル続いてくれたらいいのにと思います。
18	・今年の4月の春からイギリスに留学します。私は本プロジェクトに参加したいので、リモート参加したいです。 はなれたところからでもつながれるミュージカルをつくりたい
19	時間が合えば、なんでも手伝いたいです
20	とても良いと思います また渋ミュをやりたいです
21	歌とおどりのげきをしてみたい。
22	いろんな学校にいって渋ミュでやってることを話す。
23	続けてやりたい。
24	大人での作品作り、とても良いと思います。